



議会だより

No. 112

平成29年1月

発行/鳥取県日野町議会

15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



12月定例会 主な内容

- ・28年度補正予算・条例 …… p 2～3
- ・27年度決算審査 …… p 4～5
- ・一般質問 (5人) …… p 6～10
- ・視察研修報告 …… p 11
- ・特集コーナー …… p 12

公民館内にある「おしゃべりカフェ」(裏表紙に関連記事)



日野町議会議長 小谷 博徳

年頭のごあいさつ

新年あけまして
おめでとうございます

輝かしい西年の幕開けを、町民の皆様と、町の鳥おしどりと共に迎えることが出来、大変うれしく思います。

日頃から議会活動に対する深いご理解と、温かいご支援とご指導をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて本町は、少子高齢化・人口減少が駆け足で押し寄せ、それに伴い、農林業、商工業の衰退、自治会の活力減退等が、大きな町の課題となっています。

今年、財政の健全化から一歩抜け出して、全町を網羅する光ファイバーによる高速通信網を整備し、葬祭場をはじめとする旧サンプラザの有効活用を図り「町・人・仕事」の拠点作りがスタートします。

トします。
イターン・Uターンによる移住定住の促進で、若者の活力を町づくりに導入する挑戦の年でもあります。

新しい年を迎え、議員一人ひとりが町民の付託を背中に負い、各々の議員力を高め、それを結集した時に、議会力が付き、皆様の期待に応えられると考えています。

町民福祉向上に向けて、執行部との緊張関係の中にも、政策提言、各種施策や事業の進捗状況の検証に取り組みでまいります。皆様の一層のご支援ご協力をお願いいたします。新年のごあいさつといたします。



平成28年度

補正予算

平成28年第8回議会定例会は、12月7日から12月15日までの8日間にわたり開催され、補正予算、条例等の一部改正、指定管理者の選定の承認など、提案された19議案が原案の通りすべて全員一致で可決されました。また、意見書2件も採択されました。

一般会計補正予算では、国や県からの補助金が減額されたため、全体として2321万円減額し、その結果、予算の総額は36億7296万円となりました。

承認された支出の主なものとしては、人件費の見直しの改正分が304万円や債務負担行為（これから支払うことが約束されているもの）として、ごみの収集運搬のために向こう5年間に1億2096万円の支出が承認されました。



リバーサイドひの

金の増加に伴い1194万円増額になりました。

「リバーサイドひの」3年間の指定管理に関する議会の承認が求められ、利用者へのサービスの向上に関して担当部署との連携、管理体制についての質疑の後、承認されました。

○日野町介護保険

特別会計補正予算

1194万円を追加し、予算総額を6億6721万円とする。

【歳入】	国庫支出金	355万円
	支払基金交付金	334万円
	県支出金	149万円
	繰入金	355万円
【歳出】	保険給付費	1194万円

○日野町公共下水道事業

特別会計補正予算

67万1千円減額し、予算総額を1億977万円とする。

【歳入】	国庫支出金	△40万円
	町債	△40万円
	繰入金	13万円を追加する。
【歳出】	下水道費総務費	13万円
	公共下水道建設費	△80万円

元日野サンプラザ

活用特別委員会

●インターネット接続工事の費用負担はどうなりますか。

・元サンプラザ建屋までの費用

・各店舗までの費用

●課長 建屋までの接続は町がすることとし、その先各店舗までの配線費用は出店者の負担でお願いします。

●1㎡当たりの年間賃借料は葬祭会館3000円、店

舗3500円とした理由は、

●課長 葬祭会館は、全体の面積が大きく賃料が高い、店舗については、町外の単価（6000〜7000円）を参考に検討し3500円とさせていただきます。

●使用料は、葬祭会館は3年間減免されているが、個人出店者については減免の適用はありませんか。

●課長 葬祭会館については、事業の特殊性、また政策的考え方から減免し、個人出店者については現時点では考えていません。

●応募期間が12月22日から1月31日では、短かすぎたのではありませんか。

●課長 商工会等と相談協議し、1か月間延長するようにします。

平成28年12月22日開催

元日野サンプラザ

活用特別委員会

委員長 中原 信男

議会傍聴者アンケート

アンケート箱に議会を傍聴された方から、日野高校に「特別進学科」を新設してほしいとの要望が入っております。議会としてはご意見を「日野高校魅力向上支援連絡会」に伝えることとしました。

●観光に関してのご意見もありました。

○日野町簡易水道

特別会計補正予算

65万円を追加し、予算総額を9703万円とする。

【歳入】	繰入金	65万円
【歳出】	総務費管理費	3万円
	給水管理費（修繕料）	62万円



元サンプラザ



日野高校

平成27年度決算審査特別委員会 指摘事項に関する取り組み及び改善状況

一般会計

収入未済額

一般会計の収入未済額は1億617万円であり、昨年度より194万円減少している。町民税（個人）現年度分の徴収率は100割である。

取り巻く環境は厳しい状況でありますが、一般会計に与える影響は大きく、納税意識を徹底しながら徴収に努められたい。

取組みと改善状況

滞納については重複滞納者が多いことから、各担当課が連携した訪問徴収等を継続して実施。

鳥取県地方税滞納整理機構の活用や納税意識の徹底を図り、新規の滞納世帯が生じないよう努力いたします。

滞納金

住宅新築資金等貸付金は、

滞納分6646万円が前年度より199万円減少している。未収金総額が6446万6344円となっている。災害援護資金貸付金は滞納分1707万円が、前年度より84万円減少している。未収金総額は、依然として多額であり、現行の徴収状況を確保するとともに、今後も徴収の努力をされたい。

取組みと改善状況

住宅新築資金・災害援護資金の未収金は合計で前年度より、283万円減少してはおりますが、未収金総額は、8069万円となっています。重複滞納者が多い状況ですが、戸別訪問等を引き続き継続して徴収に努めてまいります。



滝山公園のトイレ

委託契約

町内のトイレ（駅・公園等）の清掃委託契約について、統一の基準を定められたい。

取組みと改善状況

各課の委託契約の状況を調査し、いろいろな契約条件があると思われるので、統一の基準が定められるよう検討してまいります。

日野町ブランド

特産品開発

町が推奨するブランド特産品を定め、販売拡大や広域的宣伝に行政も積極的にかわり、六次産業化の推

進と、関係団体の掘り起こしに努められたい。

取組みと改善状況

特産品振興を図るため、生産者・県・関係団体からなる推進会議を設け、アンテナショップに参加するなど宣伝・普及に努めております。

今後、六次産業化の推進に努めてまいります。

空き家対策事業

「危険家屋」など、近隣住民等に被害が生じる前に、具体的な安全対策を講じられたい。

取組みと改善状況

所有者等に状況に応じて、安全対策を講じていただくよう指導・助言に努めてい



間伐材の搬出作業

ますが、空き家対策計画の作成や危険家屋等解体撤去補助金等、効果のある方法を検討してまいります。

森林整備

地域活動支援事業

町は、各団体等に対し、支援・指導を今まで以上にされたい。

取組みと改善状況

森林整備地域活動支援交付金制度を活用し、集約化の促進・森林経営・計画作成の取り組み、効率的な林業生産活動につなげるよう県・日野森林組合及び林業事業体と連携し、森林整備振興を今まで以上に図ってまいります。



移動販売車

買い物福祉

サービス事業

高齢者見守り支援事業の整理を図り、「高齢者見守り活動意見交換会」の開催数を増やし、社会福祉協議会、民生児童委員、日野ボランティアネットワーク、中山間見守り支援事業者が連携し、高齢者に対して公平・公正な見守り体制の構築と支援体制の充実を図りたい。また、移動販売を含む高齢者買い物支援の拡充に努められたい。

取組みと改善状況

「買い物福祉サービス支援事業」は、移動販売事業を維持・継続することで日野町における移動困難者の買い物支援を行います。併せて当該事業者の最も得意とする機動力で、地域の見守り機能を担っていた多くを目的としています。今後とも、高齢者等の生活の利便性を確保できるよう移動販売、買い物支援のあり方を工夫するとともに

【総括意見】

に、日野町の全体的な見守り支援ネットワークの中で、有効に活動いただけるよう意見交換しながら連携を図ってまいります。

財政健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費率、将来負担比率の4指標すべてで、早期健全化基準の数値を下回り、財政の健全化が着実に図られています。

このことは、財政健全化計画にもとづき町を挙げて健全化に取り組んだ成果と評価します。今後も引き続き財政の安定化に向けて努められたい。

運用にあたっては、今後においても経済情勢等予断を許さない状況もあり、引き続き将来予測を十分見通しながら、財政推計を基に気を引き締めて更なる努力をされたい。

なお、社会資本整備の拡

充に努め、行政サービスの向上を図られたい。

取組みと改善状況

町全体で財政健全化に努め危機を脱したが、税収に乏しく交付税に大きく依存しており、今後も厳しい財政運営を迫られています。

財政再建の重要な経験を引き継ぎ、町民と共有し、堅実な財政を心掛けることが肝要であります。

一方で、人口減少が

いており、これをどうとどめるかが急務です。

健全に向かいつつある財政状況を土台に、社会資本整備の拡充や地域を活性化する施策を図るとともに安心・安全で住みやすい町づくりを推進してまいります。

決算審査特別委員会

委員長 中原信男



町公民館まつり



松本 利秋議員

明地の雲海案内と、オシドリ観察案内の表示を

答 新年度予算で検討

議員 国道180号にある「明地展望駐車看板」は古くなって見えづらく、また雲海眺望の案内表示が国道にありません。

また、オシドリについても国道に案内表示がなく、これら整備ができませんか。

町長 明地峠の雲海は主要な観光資源ですので、国道の案内表示も含め、所管する県とよく相談しながら、来年度以降になりますが、案内看板の更新について検討してみたいと思います。



見えなくなった看板

また、オシドリ観察小屋への案内看板をもう少し分かりやすくした方が良いのではないかとの問題意識は持っています。

観光案内看板の年次的な整備計画の中で、オシドリボランティアグループの方のご意見も伺いながら、根雨の街歩き案内と併せて、来年度の当初予算で検討してみたいと思います。



町の助成により購入されたタクシー

タクシー利用券の増を

議員 タクシーの運賃補助制度での利用券は、一般的に年間48枚(月2往復)以内となっています。

高齢者には、月2回を超えて病院通いをされる方もいらっしゃると思いますので、タクシー利用券の発行枚数を増やすことはできませんか。

町長 年間上限の48枚を全て利用される方は、病院以外の利用を含めてわずかでです。

こうした利用実績をふまえると現時点では、タクシー助成券の発行枚数を増やすことは必要ないと考えますが、住民の利用状況や意見を伺いながら制度運用に努めてまいります。



金川 守仁議員

ICTを活用した連携教育と医療・介護の町づくりを

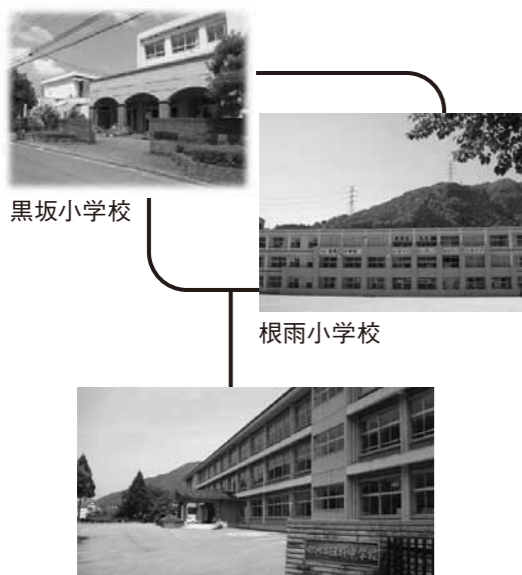
答 有効的システムがあれば検討する

連携したICT教育を

議員 我が町は、平成23年から教育振興基本計画として、保小中連携「日野町子ども15年プラン」が制定されています。しかし、こどもたちはもとより、私たちを取り巻く環境も大きく変化し、特に情報通信の環境は今後も予測できないほど進化していきます。

小、中学校も情報教育システムが整備され電子黒板とタブレットを活用した授業がスタートしました。

オンライン活用で学校連携活動の強化



黒坂小学校

根雨小学校

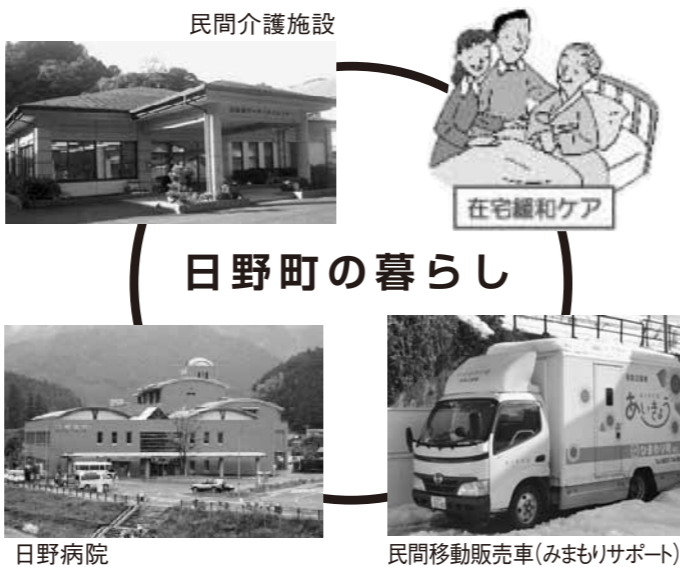
日野中学校

世界の扉を開く教育ができる

リットを生かし、ネットワークを使った情報交換「テレビ会議」など連携した活用が、今以上に充実した教育が図れると思います。がどのようにお考えでしょうか、

教育長 過去には、ビデオ通信アプリ等を使って他県の学校と学習したことを発表し合う経過がありました。今後の課題として中学校の技術・家庭科との関連を意識した指導の充実を図っていきたく考えます。

ICTを活用し「つながる」包括支援システムの構築



関連施設と民間企業等が連携し「安心・安全」な暮らしを提案する

医療介護にICTを活用した先進的システムの導入を

議員 超高速光通信網を活用して、他町に先駆けた医療・介護のシステム構築のお考えはありませんか、

町長 光通信をはじめ、双方向性という現在の魅力的な通信技術を生かし、日野

町民にとって本当に必要なものは何か。ITには、縁遠い「介護を受ける側」の立場を考慮して、今後先進事例も参考にし、本町に有効なシステムがあれば、必要なものから取り組んでいきたいと思っています。



安達 幸博議員

農業事務代行は

答 必要。検討中

議員 利用権設定、中山間地直接支払、集落営農等の事務を手伝うしくみはできませんか。

町長 高齢化に伴い必要性は感じます。その職員を複数人配置するとなれば負担になり、今検討中です。

議員 集落ごとに同一の認定農業者に集約化する方が効率がありませんか。

町長 この集落はBさんというよ



他地域の道の駅

うに集約化する方がいいと思います。その調整は、行政と農業委員会が一体になり取り組まないとい野町の農業は、尻すぼみになると思います。

議員 遊休地に、ミツマタ栽培等、新たな産業の振興をしませんか。

町長 本町は、美味しい米ができる適地です。当面は、稲作に特化し農地を守って行きます。

議員 葬祭施設業者の提案内容をお聞きします。

む気持ちはあります。工夫したいと思います。



農業委員会

企画課長 30名から60名の収容人数のホール。通夜、和室、シャワー、風呂の提案がありました。

議員 野菜等を今以上に作ってもらうために、苗補助制度を要望しておきます。健康増進施設の考えをお聞きます。

議員 道の駅の特徴は、農産物販売です。このようなしくみを作りませんか。

町長 賑わいゾーンの中にそういうスペースを取り込

副町長 伯耆町にある施設に打診をしました。周辺人口を考えれば出店は難しいとの考えでした。今後も他の可能性を探っていきます。

根雨社会体育館跡地の活用は

答 契約期限を踏まえて検討する



山形 克彦議員



未利用となっている旧体育館跡地

議員 未利用地となっている体育館跡地は約630㎡あり、借地料は年額で約48万円掛かっている。この部分を含めた借地料368万円9千円が毎年支払われている。未利用地である跡地に係る借地料は全くの無駄な支出であり、早々に有効活用されることを期待し、質問します。

放置された状態が1年以上上統しており、無駄な支出としないため有効活用される考えはありませんか。

町長 不要な土地は所有者に返すのが原則ですが、契約の期間中であり、その期間は支払いをしたいと考えています。状況を踏まえて検討をしています。

議員 日翔会と引き続き話し合いを継続することですが、4月以降今日まで協議を持たれましたか。

町長 日翔会の代表の方ともお会いし話を進めています。私としては所有者から



光通信施設の建設予定地

借りしている額と同額を提示していますが、無理な額とは考えていません。

議員 周囲の土地は、日翔会に無償貸付けされている

土地と有償貸付されている土地が混在しており、所有者に返還できないなら、無償若しくは少額でも貸付けるなど、土地の有効活用を図り、無駄な歳出を削減されては。

町長 土地の活用については光通信網の整備事業に伴い、既に貸地としている日翔会職員住宅の駐車場の代替地として考えています。

議員 行政は常に費用対効果を求められており、歳出というコスト意識を持って対応されては如何ですか。

町長 ご指摘はご指摘として承ります。



佐々木 求議員

保育は若者定住の目玉商品 病後児保育は平等の扱いを

答 関係者にご迷惑をおかけしました

議員 教育民生常任委員会で9月の末に「発熱外来」を仕切ってきた部屋を視察しました。教育委員会からの説明をその場で受けました。その後、11月29日事業開始の案内が保育所の関係者に配られました。まず、その中で「ひのっこ保育所」に入所している児童又は日野病院職員の子供としていますが、「実施要項」にはそんなことは触れていない。また、対象児童を一日2名としています。なぜ

日野病院の職員が特別に優遇されることになるのか。また2名とする根拠は何ですか。さらに、役場の職員には5時30分まで庁舎に居るように指導しているのに、15分までが利用時間としているのはなぜですか。我々が現地調査した際に、経緯からすると、実施前に委員会に対する報告は責務上あの場でお約束したこと、何故できなかったか確認致します。



日野病院正面玄関入口左側の建屋「発熱外来棟」



発熱外来棟の室内

教育長 保育所に入所していない児童は、家庭での保育が可能であると考えます。日野病院の職員の子供等としたのは、この事業が日野病院の施設や医師・看護師のご理解とご協力でできた経過を踏まえ対象とした。定員は国の基準では3人に1人の保育士が必要で、

低年齢児の受け入れを考え、2名としました。5分や10分は手当てが出来ます。病院との契約では時間は明記していません。私の指導力不足で、関係者にご迷惑をおかけしました。

議員視察研修報告

創造的過疎は 持続可能な地域づくり

徳島県神山町

11月15日～16日、産業、雇用、まちづくりの先進地、神山町（人口5300人、高齢化率49・5％）と淡路島道の駅を視察研修しました。

抜群のIT環境神山町は全国屈指の通信インフラを誇り、IT産業、動画コンテンツ企業を引き付けた。



山間の町徳島県神山町



古民家を改修しサテライトオフィスに

NPO法人グリーンバレー神山プロジェクトの原動力、移住定住支援、家屋再生、アーティスト滞在支援、サテライトオフィス誘致、視察等の窓口、各出先機関との一元化を図る。

神山塾

6ヶ月間求職者支援訓練、人材育成、開塾以来6期間77名、7期34名研修中、50％が移住、SO雇用10名、10組のカップル誕生。

神山アーティスト・インレジデンス

国内外のアーティストを呼び、滞在中に創作して貰う。

サテライトオフィス

知人の紹介で、古民家を改修「SAN・SAN神山ラボ」設立、IT関係の人が人を呼びベンチャー企業が古民家を借りる、移住者の増加で店舗や施設等、オープンが相次いでいる。

一般財団法人「神山つなぐ公社」

町民と若い役場職員20名で構成、総合戦略実施プロジェクトの中核を担う。16日は、淡路島3ヶ所の道の駅を地元産品の集荷、販売体制等について視察研修を行った。

まちづくりは、その時出来る事を全力で反復活動の過程を積み重ね、創造的人間の集積以外はない、この教訓をまちづくりに「元サ

ンプラザ」にどう活かすか、英知を絞り、行動と努力を重ねたいです。



委員長
中原 明

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

地域の交流の場

「おしゃべりカフェ」

地域の過疎化、高齢化が進み、黒坂地区にも以前は食堂や居酒屋があり、人々の交流がありました。



おしゃべりカフェのスタッフ

一方、高齢者の世帯、独居の人がふえましたが、近くに気晴らしのために行き場がなく、家にこもりがちとなりました。近くに飲みなが

ら、気軽に誰かと話しができる場所があればと、地域の皆さんが日頃から思っていました。

こうしたなか、コーヒーに詳しくいつも自宅で自家焙煎をして楽しんでいる西古尚史さんを中心に数人が発起人となり、誰でも気軽に寄れて、コーヒーを飲みながら友達とおしゃべりができる場を作ろうということになりました。

発案から半年、試行錯誤の末、町の協力を受けるながら平成25年6月2日、高齢者を中心とした交流サロン「おしゃべりカフェ」を公民館ロビーの一角にオープンしました。

現在の営業日は、黒坂診療が公民館で開所される火曜日と木曜日です。また、月1回開園される、おしどり学園の日、金曜日です。

営業時間は、午前10時から午後3時まで。スタッフ18人で、午前・午後2人ずつ交替でしています。年齢も60歳代から80歳代



で、無償で活動しています。コーヒー代は、カウンターに置いてある募金箱に入れて頂き、その寄付金でコーヒー豆等購入し運営資金にしています。

地域のコミュニティを維持し、また高齢者の引きこもりを防ぐために、とても効果があると思います。

来客数も予想より早く2年4ヶ月で1万人を達成しました。現在、1日の来客数は30人から40人で、地区民の交流の場として定着し、楽しく歓談されている姿を見る時、私たちスタッフの頑張る力となり、これからも続けて行きたいと思えます。

あとがき

あけましておめでとうございませう

正月は積雪がなく、帰省客はひと安心されたところでしょう。雪は旧正月前後が本格的な頃だとよく言われますが、積雪の具合で財政には大きな影響があり心配です。12月議会だよりは編集作業がどうしても年明けになり、編集委員会は新年から大車輪です。

みなさんのお手元に届くのはどうしても2月の初めになります。今年も全力を尽くしますので、ご意見を寄せていただきますようご協力をお願いします。

(佐々木 求記)

議会広報常任委員会

委員長 佐々木 求

副委員長 松尾 信孝

松本 利秋

中原 信男

金川 守仁

山形 克彦